

令和2年度 幼保連携型認定こども園 唐津カトリック幼稚園 学校評価(自己評価)

1. 幼稚園の目標	2. 本年度の重点目標
カトリックの愛と祈りの精神に基づき神様を愛し人を愛することができる子どもに育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>心を育てる</li> <li>宗教による情操教育</li> <li>縦割り保育</li> <li>小学校連携の充実のカリキュラム</li> <li>挨拶・礼儀・よい生活習慣の形成</li> <li>モンテッソーリ教育</li> <li>地域との交流</li> </ul>

3. 目標・評価						外部関係者から
①こころを育てる						意見や提言など
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	
教育活動	生きる力の育ち	自分で考えて判断できているか	正しい目標を定めそれに向かって努力する心の強さを担う	4	指示を待つ子どもが多い中で選択肢を与えたり、自分で考え判断できる場を多く持たせるよう心掛けている。その中で共感したり目標を定めながら、個々に合わせ寄り添っていたと思う。多くの職員が研修を積み重ねよく取り組んだ結果だと思う。	縦割り保育は互いに違う年齢の子との接し方を学べ、またその中で自己の立ち位置も自覚しているのでも素晴らしいです。性格も成長の度合いも違う子ども。目標も違ってあたり前。自分がやりたい事を見つけられる環境の縦割り横割りの保育等のバランスをよく配分されている中で友達同士で学び合い励まし合い、協力し合え、そうしながら成長できる環境であってほしいと願います。
	思いやりの心	相互のつながりをふやす	縦割り保育で家庭的な雰囲気をつくる	3.5	縦割り保育の中で異年齢での関わりは大きく、年長の友達に対するの尊敬や憧れがあり、より良い環境の中で優しさや思いやりの心が育っている。自分だけの世界から友達の気持ちに気づいてほしい時もあり、重点的に視野が広がるように関わってきた。	

②宗教による情操教育						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	神様に愛されていることを知る	すべてのものに感謝する心を学ぶ	自己肯定感と善悪の判断をつけ正しいことを実行できる良心を形成する	3.6	毎日のお祈りの中で子どもたちの素直な気持ちを引き出し良い判断がもてるように導いてきた。神様に見守られていることを身近に感じながら、感謝する心をはぐくむよう心がけている。	宗教教育に傾きすぎることもなく、ちょうど良い塩梅です。子どもたちもとても素直に育ってくれています。日々「ありがとう」の気持ちで人と関わっているならば子ども先生も愛する気持ちを十分持ち思いやりの精神が育っていると思う。

③地域との交流						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	地域とのつながりを深める	自分の笑顔が他の人に役にたつことの喜びを体験する	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の園外清掃</li> <li>老人ホーム慰問</li> <li>虹の松原清掃</li> </ul>	3	今年度はコロナ禍の中で大きく制限された中での行事や地域交流であったが、密な交流が出来ない中でプレゼントで絵を描いたり、手紙を書いたりして交流をはかった。又、遠足などの近所で会う方への挨拶等も気持ちよく行えるよう心掛けた。	コロナ禍で大変な配慮と工夫を強いられていたと思いますが、本当によくやって頂いて感謝しております。園外保育も大切な行事。出かけた先々でカトリック精神をおおいに表現してください。

④小学校連携						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	小学校に興味をもち親しみを持つ	遊びの体験を学びの自立へ持っていけるよう促す	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣の徹底、精神的自立、ができるようひとりひとりにあわせた記録をとり指導する</li> </ul>	3.7	ひとりひとりが生活習慣が身につくよう指導してきた。就学に向けての意識を高めながらも自立の為に個々の成長に合わせていく。年長児は小学校入学への期待と不安を受け止めながら子どもだけでなく保護者との対応にも心掛けた。	モンテッソーリの中で学んだことも小学校の学習で生きてくるので子どもたちも自信を持って学校生活を送れているようです。自分の気持ちを伝える、自分で行動できる子であれば元気な1年生です。

4 本年度のまとめ

今年度はコロナウイルスの影響で行事や活動が縮小、制限される中で学年ごとの開催が多くあり、例年と違った取り組みに職員ひとりひとりがよく取り組んだ1年であった。園内の消毒からの衛生面にも気をつけ、子どもたちの体調にもいつも以上に気を配った。外部研修が減り、園内研を多く行い、職員間で互いに認め合ったり再確認することを心掛け、ひとりひとりの職員がより良い人的環境となれるよう到来年度も意識して保育していきたい。

達成度

A(5) ほぼできた  
B(4) 概ねできた  
C(3) 少しできた  
D(2) 不十分だった

外部関係者より総評

コロナ禍はまだまだ続きそうですが、その中でも今年度も行事ごとにも極力実施頂いてみんな安心してこれまでと変わらず園生活を送れたようですね。本当にありがとうございました。